

## 政策シート

(政策名) 豊かで安全・健康で快適な環境づくり

(予算費目名) 環境保全費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

## ◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

## ◇政策の概要

市民、事業者、行政が環境保全に関するそれぞれの役割を認識し、協働して各種環境保全活動を実践することにより、「良好な大気環境や水環境の保全」を図るとともに、「感覚公害のないまち」を実現し、「健康で安心して暮らせる生活環境」や「潤いのある豊かな自然環境」の確保を目指す。

## ◇関連するSDGsのゴール

③保健	⑥水・衛生	⑪都市	⑭海洋資源						
-----	-------	-----	-------	--	--	--	--	--	--

## ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	33,937	17,214	0	0	0	0
決算	31,114	0	0	0	0	0
人件費(A)	129,600	133,200	0	0	0	0
報酬(B)	0	0	0	0	0	0
年間経費(予算又は決算+A+B)	160,714	150,414	0	0	0	0

## ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
大気環境基準4項目(SO <sub>2</sub> 、NO <sub>2</sub> 、CO、SPM)の環境基準値達成割合	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100					
自動車騒音の要請限度内達成割合	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100					
佐鳴湖のCOD(化学的酸素要求量) ※5ヶ年移動平均値(R1は年間平均値)	mg/L	目標	8未満	8以下	8以下	8以下	8以下	8以下
		実績	7.1					

## ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

市民、事業者、行政が環境保全に関するそれぞれの役割を認識し、協働して各種環境保全活動を実践することにより、「良好な大気環境や水環境の保全」を図るとともに、「感覚公害のないまち」を実現し、「健康で安心して暮らせる生活環境」や「潤いのある豊かな自然環境」の確保を目指した。

## ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
・大気環境、自動車騒音の達成割合は100%であり、目標を達成した。	
・佐鳴湖のCODの平均は7.1mg/Lであり、目標を達成した。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	大気・騒音対策事業					53,560	3,060	6.7	1.0	0.0	0.0	0
2	水質保全事業	○	○			64,572	7,452	7.8	0.7	0.0	0.0	0
3	雨水浸透ます普及事業					5,492	3,012	0.2	0.3	0.0	0.0	0
4	環境保全運営経費					26,790	3,690	3.3	0.0	0.0	0.0	0
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						150,414	17,214	18.0	2.0	0.0	0.0	0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 大気・騒音対策事業

### ◇事業目的・事業対象

大気汚染の状況の監視、測定計画の作成及び調整、悪臭の防止等、大気汚染防止法や悪臭防止法等の法令に規定される事務の施行を基本とし、市民、事業者等への啓発、事故発生時の対策等に努め、健康で安全な生活環境を保全する。また騒音規制法、振動規制法及び静岡県生活環境の保全等に関する条例に基づき、騒音及び振動に係る生活環境を保全し、市民の健康の保護に資する。

### ◇事業の概要

- ・PRTR法に基づく事業者からの報告の受理及び国への報告(法定)
- ・自動車排出ガスを含む大気汚染の状況に係る常時監視とデータの公表(法定)
- ・ダイオキシン類の発生抑制対策、ダイオキシン類対策特別措置法に定める自主測定結果の公表(法定)
- ・有害大気汚染物質の測定結果の整理と公表(法定)
- ・大気に係る事故の緊急時対応並びにオキシダントの監視及び注意報の対応(法定)
- ・大気汚染防止法、騒音・振動規制法、悪臭防止法及び県条例等に基づく届出受付事務及び特定事業所の立入検査(法定)
- ・自動車騒音、航空機騒音及び一般環境騒音の測定結果の整理及び公表(法定)
- ・微小粒子状物質(PM2.5)に係る注意喚起情報の市民への提供
- ・法改正に伴う石綿飛散防止対策の事業者への周知。
- ・各種公害相談に対する受付及び指導
- ・感覚公害防止のための浜松市音・かおり・光環境創造条例の啓発活動

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S43	-	一般会計	法定受託事務、自治事務(法令義務)、自治事務(その他)	公害関係法(大気汚染防止法、騒音規制法等)、静岡県生活環境の保全等に関する条例等	-	-	-

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	2,162	3,060				
	決算	1,738					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	1,738	3,060				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		50,400	50,500	0	0	0	0
人工	正規	7.2	6.7				
	再任用(h31)		1.0				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.6
③ 保健	○ 3.9	⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

- ・有害化学物質の監視や大気汚染対策により、健康で安全な生活環境を保全する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
大気環境基準4項目(SO <sub>2</sub> 、NO <sub>2</sub> 、CO、SPM)の環境基準値達成割合(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
自動車騒音の要請限度内達成割合(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
0					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	0	0					0
実績値	0	0					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
0					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	0	0					0
実績値	0	0					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	0	0					0
実績値	0	0					

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・PRTR法に基づく事業者からの報告の受理及び国への報告(法定)
- ・自動車排出ガスを含む大気汚染の状況に係る常時監視とデータの公表(法定)
- ・ダイオキシン類の発生抑制対策、ダイオキシン類対策特別措置法に定める自主測定結果の公表(法定)
- ・有害大気汚染物質の測定結果の整理と公表(法定)
- ・大気に係る事故の緊急時対応並びにオキシダントの監視及び注意報の対策(法定)
- ・大気汚染防止法、騒音・振動規制法、悪臭防止法及び県条例等に基づく届出受付事務及び特定事業所の立入検査(法定)
- ・微小粒子状物質(PM2.5)に係る濃度予測情報の市民への提供
- ・各種公害相談に対する受付及び指導
- ・自動車騒音、航空機騒音及び一般環境騒音の測定結果の整理及び公表(法定)
- ・感覚公害防止のための浜松市音・かおり・光環境創造条例の啓発活動

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・大気環境、自動車騒音の達成割合は100%であり、目標を達成した。
- ・大気汚染の状況の監視、測定計画の作成及び調整、悪臭の防止等、大気汚染防止法等の法令に規定される事務は、滞りなく行われており、市民、事業者等への啓発、事故発生時の対策等に努めた。
- ・騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法及び静岡県生活環境の保全等に関する条例に規定される事務は、滞りなく行われており、市民の生活環境を保全し、市民の健康の保護に努めた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・農業従事者が行う野焼きや堆肥の施肥及び搬入に伴う臭いに対する苦情数を削減するために、農業従事者向け冊子を活用し、苦情の状況等について情報発信を行った。
- ・事業場台帳システムの更新に合わせて、水銀発生施設をシステム管理できるように改善し、事務の効率化を図った。
- ・ばい煙発生施設の排出ガス測定を業者委託し、適正な立入検査を行った。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・大気汚染防止法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法及び静岡県生活環境の保全等に関する条例に規定される事務については、引き続き実施していく。
- ・災害時のアスベスト飛散防止対策マニュアルを整備する。
- ・再任用職員を活用する。

## 事業シート (事業名) 水質保全事業

### ◇事業目的・事業対象

河川、湖沼、海域の公共用水域、地下水及び佐鳴湖、浜名湖など閉鎖性水域などの水質保全並びに地下水障害の防止を図り、健康で安全な生活環境を保全する。

### ◇事業の概要

- 【R1-R4重点戦略項目 No.136】
- ・水質汚濁防止法、静岡県生活環境の保全等に関する条例に基づく届出受付事務(法定)
  - ・公共用水域、地下水などの水質常時監視計画の策定と調査結果のとりまとめ及び公表(法定)
  - ・公共用水域における水質事故及び緊急時の対策(法定)
  - ・水質特定事業場の指導並びに立入検査計画の策定と結果のとりまとめ及び届出状況のとりまとめ(法定)
  - ・土壌汚染対策法に基づく届出や申請に対する事務及び土壌汚染の事業者に対する指導(法定)
  - ・「静岡県地下水の採取に関する条例」の施行(法定)及び「西遠地域地下水利用対策協議会」事務局の運営
  - ・地下水の水位調査及び塩水化調査
  - ・水浴場の水質調査計画の策定と調査結果のとりまとめ及び公表
  - ・佐鳴湖、浜名湖の水質浄化対策の検討
  - ・静岡県浜松土木事務所との「佐鳴湖地域協議会」の運営
  - ・「浜松市川や湖を守る条例」の施行及び周知
  - ・芳川の着色対策の検討

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S45	-	一般会計	法定受託事務、自治事務(法令義務)、自治事務(その他)	水質汚濁防止法、土壌汚染対策法、静岡県生活環境の保全等に関する条例、静岡県地下水の採取に関する条例	-	○	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	13,162	7,452				
	決算	11,834					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	11,834	7,452				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		53,300	57,120	0	0	0	0
人工	正規	7.1	7.8				
	再任用(h31)	1.0	0.7				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健	○ 3.9	⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	○ 14.1
⑥水・衛生	○ 6.3	⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

- ・地下水質の監視、地下水汚染の未然防止及び対策、土壌汚染対策などの実施により、健康で安全な生活環境を確保する。
- ・水質特定事業場の指導、立入検査などの実施により、河川、湖沼、海域の水質を保全する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
公共用水域の環境基準達成率(%)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	95	95	95	95	95	95	95
実績値	95.0	94.5					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
佐鳴湖のCOD(mg/L)※5ヶ年移動平均値(H30、R1は年間平均値)					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	8未満	8未満	8以下	8以下	8以下	8以下	8以下
実績値	8	7.1					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
0					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	0	0					0
実績値	0	0					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
0					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	0	0					0
実績値	0	0					

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

<p>【R1-R4重点戦略項目 No.136】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水質汚濁防止法、静岡県生活環境の保全等に関する条例に基づく届出受付事務(法定)</li> <li>・公共用水域、地下水などの水質常時監視計画の策定と調査結果のとりまとめ及び公表(法定)</li> <li>・公共用水域における水質事故及び緊急時の対策(法定)</li> <li>・水質特定事業場の指導並びに立入検査計画の策定と結果のとりまとめ及び届出状況のとりまとめ(法定)</li> <li>・土壌汚染対策法に基づく届出や申請に対する事務及び土壌汚染の事業者に対する指導(法定)</li> <li>・「静岡県地下水の採取に関する条例」の施行(法定)及び「西遠地域地下水利用対策協議会」事務局の運営</li> <li>・地下水の水位調査及び塩水化調査</li> <li>・水浴場の水質調査計画の策定と調査結果のとりまとめ及び公表</li> <li>・佐鳴湖、浜名湖の水質浄化対策の検討</li> <li>・静岡県浜松土木事務所との「佐鳴湖地域協議会」の運営</li> <li>・「浜松市川や湖を守る条例」の施行及び周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芳川の着色対策の検討</li> </ul>
---	---

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p style="text-align: center;">遅れている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共用水域の環境基準達成率は、94.5%と目標を達成できなかった。</li> <li>・佐鳴湖のCODは7.1mg/Lであり、目標を達成した。</li> </ul>
---

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  改善  小項目  統合・再構築 /  その他  事業費  縮小  人工  現状

- ・水質汚濁防止法の届出事務、水質の常時監視、水浴場水質調査、水質汚濁事故への対応、特定事業場の立入検査、地下水汚染対策などにより、市内の公共用水域及び地下水の環境基準達成に向けて事業を実施した。
- ・猪鼻湖の水質浄化対策として、施肥由来の窒素の汚濁負荷発生源の調査と草生栽培の実証調査を実施した。
- ・県浜松土木事務所と共に、佐鳴湖地域協議会を運営し、佐鳴湖浄化を推進するための各種事業を運営した。
- ・現行の佐鳴湖行動計画の終了に伴い、令和2年度からの第二期行動計画の案を策定した。

今後の方向性

大項目  改善  小項目  ICT化 /  統合・再構築  事業費  縮小  人工  現状

- ・魚へい死、油流出などの水質汚濁事故に迅速かつ的確に対応するために、導入したタブレット端末を活用する。
- ・猪鼻湖等の閉鎖性水域の水質浄化対策に関し、調査結果に基づき施肥量削減の啓発活動を実施する。
- ・佐鳴湖浄化対策に関し、第二期佐鳴湖行動計画に「人材育成」を目標として位置づけ、将来的に地域協議会の支援がなくとも佐鳴湖浄化対策が継続されていく運営体制を目指す。



## 補助シート (事業名) 水質保全事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
136	佐鳴湖の水環境を向上するための行動計画が令和元年度をもって終了する。R2～R6の次期行動計画を策定した。	次期行動計画に定める目標(COD8mg/L以下※5ヶ年移動平均値)達成に向け、取組みを市民との協働により推進していくことにより、佐鳴湖の水環境向上を図る。	次期行動計画に定める目標(COD8mg/L以下※5ヶ年移動平均値)達成に向け、取組みを市民との協働により推進していくことにより、佐鳴湖の水環境向上を図る。	次期行動計画に定める目標(COD8mg/L以下※5ヶ年移動平均値)達成に向け、取組みを市民との協働により推進していくことにより、佐鳴湖の水環境向上を図る。
0		0	0	0

## 事業シート (事業名) 雨水浸透ます普及事業

### ◇事業目的・事業対象

佐鳴湖の水質浄化対策の一環として、雨水浸透ますを普及、促進することにより、水質環境基準の早期達成及び維持を図る。

### ◇事業の概要

- ・佐鳴湖上流域での雨水浸透ます設置者に対して助成を行う。
- ・佐鳴湖地域協議会を通じて水質浄化の啓発活動を行い、雨水浸透ます設置の機運を高める。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	0	-	-	-

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	6,563	3,012				
	決算	6,416					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	6,416	3,012				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		2,800	2,480	0	0	0	0
人工	正規	0.4	0.2				
	再任用(h31)	0.0	0.3				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生	○ 6.3	⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

雨水浸透ます設置により湧水を増やし、佐鳴湖の水質浄化をするとともに、水質浄化意識を市民に啓発し、浜松のシンボルである佐鳴湖をきれいにする機運を高める。ひいては廃棄物投棄の減少や下水整備の進捗にもつながり、湖沼や河川の水質が改善される。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
雨水浸透ます設置補助基数(基)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	360	450	500	530	-	-	-
実績値	332	415					
0					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
0							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	0	0					0
実績値	0	0					
0					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
0							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	0	0					0
実績値	0	0					
0					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
0							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	0	0					0
実績値	0	0					
0					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
0							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	0	0					0
実績値	0	0					

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・佐鳴湖上流域での雨水浸透ます設置者に対して助成を行った。(上限1基6万円)
- ・雨水浸透ます設置の効果を確認するため、設置重点地区周辺の湧水量調査を実施した。(3~5年毎)
- ・雨水浸透ます設置認証シールを設置者に配布した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

- ・令和元年度は83基を設置したが、年度設置目標の90基、通算設置目標の450基とも達成できなかった。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・設置費補助に関して、予算500万円のうち498万円まで活用したが、全件が既築住宅(@60,000円/基 × 83基 = 4,980,000円)の申請であったため、目標基数に達しなかった。
- ・設置重点地区周辺の湧水量調査を実施したが、湧水量と浸透ますによる雨水浸透量(降雨量)との間に明確な相関はみられなかった。
- ・啓発活動として、佐鳴湖上流域の雨水浸透ます設置者に、雨水浸透ます設置認証シール1,000枚を配布した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・佐鳴湖地域協議会等の各種チャンネルを通じ雨水浸透ます設置に関する啓発活動を実施すると共に、佐鳴湖上流域における雨水浸透ますの設置を着実に進めていく。
- ・これまでに設置してきた雨水浸透ますの浸透性能の維持に資する新規事業を検討する。

## 事業シート (事業名) 環境保全運営経費

### ◇事業目的・事業対象

- ・複雑多岐にわたる現代の環境問題に対処するために、関係機関との協議及び情報交換を行う。
- ・市内の事業場の公害関係情報を電算機に入力・管理し、事業場への指導等を適切に実施する。

### ◇事業の概要

- ・環境行政に関する諸問題に対処するために、環境省、静岡県等関係機関との協議及び「静岡県都市環境保全行政研究会」での情報交換等を行う。
- ・大気汚染防止法、騒音規制法等の環境法令に基づき事業者から届出される「特定施設設置届出」、「氏名等変更届出」等の事業場に関する情報や、公害苦情に関する情報等を一元管理する。
- ・その他、環境保全業務を推進する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H2	-	一般会計	自治事務(その他)	0	-	0	0

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	12,050	3,690				
	決算	11,126					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	11,126	3,690				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		23,100	23,100	0	0	0	0
人工	正規	3.3	3.3				
	再任用(h31)	0.0	0.0				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4	
					第1期	第2期		
0	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	0	0					0
	実績値	0	0					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4	
					第1期	第2期		
0	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	0	0					0
	実績値	0	0					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4	
					第1期	第2期		
0	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	0	0					0
	実績値	0	0					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4	
					第1期	第2期		
0	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	0	0					0
	実績値	0	0					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4	
					第1期	第2期		
0	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値	0	0					0
	実績値	0	0					

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・環境行政に関する諸問題に対処するために、環境省、静岡県等関係機関との協議及び「静岡県都市環境保全行政研究会」での情報交換等を行った。
- ・大気汚染防止法、騒音規制法等の環境法令に基づき事業者から届出される「特定施設設置届出」、「氏名等変更届出」等の事業場に関する情報や、公害苦情に関する情報等を一元管理した。
- ・その他、環境保全業務を推進した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

事業場台帳システムの5年毎の更新に伴い、アスベスト対象事業所の追加や苦情システムの充実など新機能を付加し、事務の効率化を図った。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・ 公用車の老朽化に伴うリース化更新に伴い、装備の付加による安全性の充実を図る。
- ・ 課内グループの再編成を行い、庶務、経理などの業務の効率化を図る。